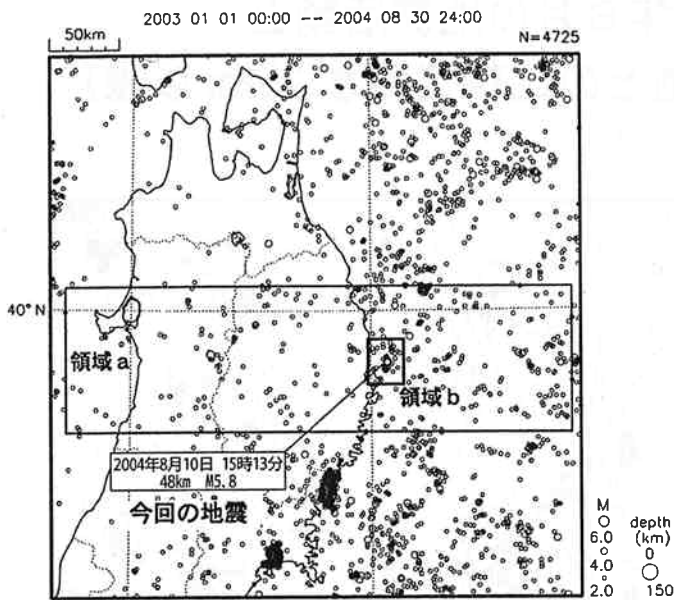


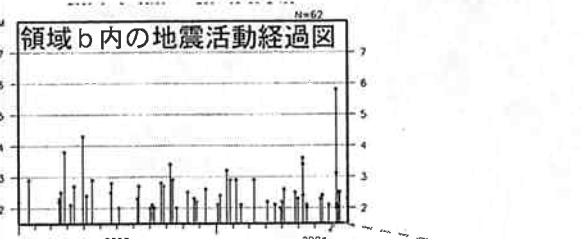
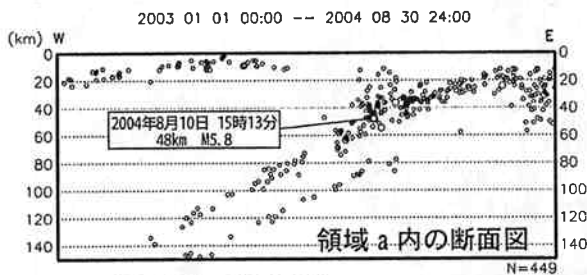
# 8月10日 岩手県沖の地震

震央分布図 (2003年以降、 $M \geq 2.0$ )

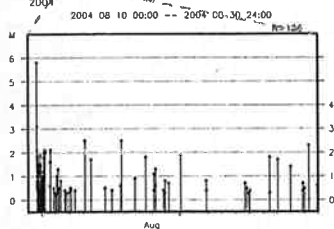


2004年8月10日15時13分に岩手県沖の深さ48kmでM5.8(最大震度5弱)の地震が発生した。発震機構は東西に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界の地震である。余震活動は活発な状態が3日間程度で収まり、その後は小規模な活動が続いている。

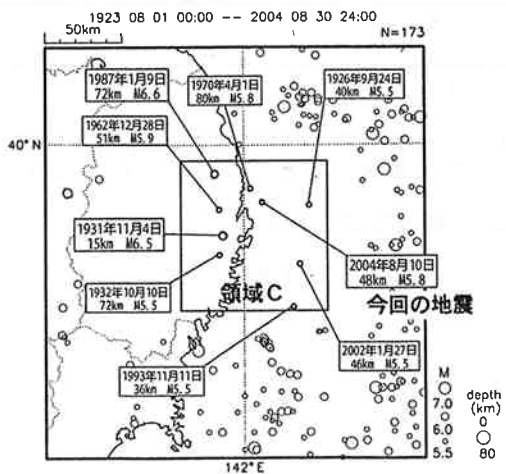
この付近では定常的な地震活動が見られるが、規模の大きい地震は周辺に比べて少なく、1923年8月以降、M6.0以上の地震は1987年1月9日と1931年11月4日の2回観測されているのみである。



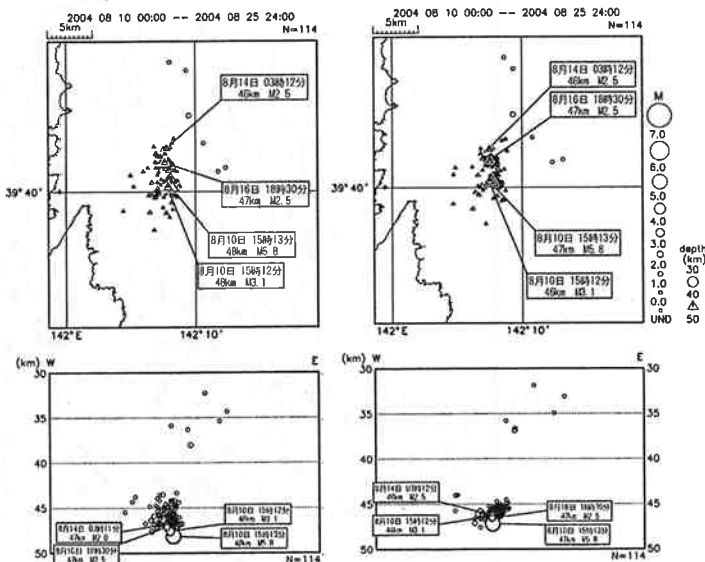
8月10日以降 (Mすべて)



震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 5.5$ )



ルーチン震源と再計算震源の比較 (ルーチン) (再計算: 観測点補正)



今回の地震の発震機構

(P波初動解) (CMT解)

